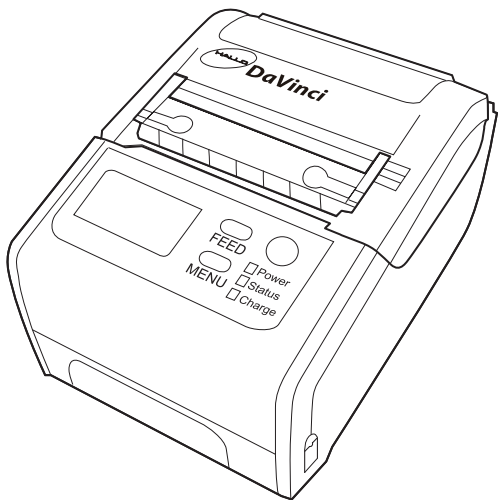


Shinsei

HALLO **DaVinci**

Mobile Printer

取扱説明書



株式会社
新盛インダストリーズ

■はじめに

このたびは、HALLO DaVinci プリンターをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。HALLO DaVinci プリンターは、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたモバイルプリンターです。

ご使用前に、この取扱説明書を充分お読みいただき、HALLO DaVinci プリンターを正しくご活用下さいますようお願い致します。また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐにご利用できますようお手元に保管してください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■ Bluetooth™ 製品をお買い上げのお客様へ

本装置には、技術基準適合証明を受けた特定小電力無線機器が収納されています。本装置を使用するにあたっては、無線局の免許は必要ありません。また、本装置は日本国内でのみ使用できます。この機器が使用する周波数帯には、医療機器、産業機器、電子レンジ等や移動体識別用の構内無線局、及び特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 標準的な「構内無線局」に与える干渉を想定した場合、本装置が想定する与干渉距離はおよそ10m以下です。
3. 万一、この機器から有害な電波障害の事例が発生した場合には、既に運用されている「構内無線局」保護のための電波干渉回避にご協力ください。
4. 電子レンジ、無線LAN等の近辺でご使用された場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

※ “Bluetooth” は、Bluetooth SIG, Inc., USA が所有する登録商標です。

■ 目次



1. 安全にご使用いただくために 6
2. より長くご使用いただくために 10
3. 本装置の確認 12
 - 3-1. プリンター本体
 - 3-2. 付属品
4. オプション 14
5. 各部の名称と機能 15
6. バッテリーパックでご使用の場合 19
 - 6-1. バッテリーパックの本装置への取り付け
 - 6-2. バッテリーパックの本装置からの取り外し
7. バッテリーパックの充電 22
 - 7-1. こんなときは、充電が必要です
 - 7-2. 充電の仕方
 - 7-3. バッテリーパックをご使用になる上で
8. 本体充電器（別売）で充電する場合 27
 - 8-1. 本体充電器の取り付け
 - 8-2. 本体充電器の取り外し
9. 記録紙のセット 29
 - 9-1. 通常発行の場合
 - 9-2. 剥離発行の場合
10. 電源の ON-OFF 36
 - 10-1. 電源を ON にします
 - 10-2. 電源を OFF にします
11. 液晶ディスプレイのコントラストの調整 37

■ 目次

12. バックライトの点灯時間の調整	39
13. テスト印字	41
13-1. テスト印字方法その1	
13-2. テスト印字方法その2	
14. 設定値の一覧印字	44
15. プリンター情報の確認	46
16. Bluetooth™通信の設定値の確認	48
17. センサーの自動調整	52
17-1. ラベルセンサーの自動調整	
17-2. 剥離センサーの自動調整	
18. USB 接続の場合	55
19. Bluetooth™通信で使用する場合	55
20. 記録紙の発行	56
21. エラーメッセージ	57
22. 日常点検およびクリーニング方法	59
22-1. 印字の点検（テストパターンの印字）	
22-2. ヘッドチェックの実行	
22-3. サーマルヘッドのクリーニング	
22-4. プラテンローラと剥離ローラのクリーニング	
22-5. 各センサー部のクリーニング	
23. 本装置の仕様	64
24. ご注意	67

1. 安全にご使用いただくために

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は、次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警 告

プリンター本体・バッテリーパック・バッテリーチャージャー・本体充電器などは、分解または改造しないでください。

●破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。



バッテリーチャージャーは、指定のバッテリーパック以外は充電しないでください。

●バッテリーパックが、発熱・破裂・発火する原因になります。



プリンター本体を落としたり、ぶついたりするなどの「強いショック」を与えないでください。

●破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。



プリンター本体・バッテリーパック・バッテリーチャージャー・本体充電器などに水やホコリなどがかからないようにしてください。

●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



バッテリーパックを保管するときは、金属などといっしょに置かないでください。

●ショートして、火災・感電の原因になります。



 注意

バッテリーパックは、長時間、充電状態で放置しないでください。



充電後は、必ずバッテリーチャージャーまたは本体充電器の電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



バッテリーパックは、充電後、長時間放置すると自然放電して電池残量が減少し、動作時間が少なくなることがあります（故障ではありません）。



カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますが、手を触れないでください。

●使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。

●また、手油がサーマルヘッド劣化の原因にもなりますので、絶対に触らないでください。



 **注意**

本装置の使用後、または長時間使用しないときは、安全のためバッテリーパックを取り出し、本体充電器の電源プラグをACコンセントから抜いてください。



定期的に本体充電器の電源プラグをACコンセントから抜いてホコリを取り除いてください。

●差し込み部にホコリがたまると、漏電・火災の原因になります。



本装置を不安定な所に置かないでください。

●落下して、けがの原因になることがあります。



指定のバッテリーパック（リチウムイオン電池）以外は、使用しないでください。

●バッテリーパック（リチウムイオン電池）は、使用済になりましたら、当社販売店までお届けください。



2. より永くご使用いただくために

取り扱い上のご注意

1. 記録紙が装着されていない状態で、記録紙の発行を行わないでください。
2. 本装置は、過度な電源ノイズによって、内蔵しているプログラムの設定値が、変化したり破壊される場合がありますので、印字内容が正しいことを確認してから発行（使用）してください。
3. 極端な温度・湿度の条件下でのご使用は、避けてください。
4. 冷暖房機の近くや直射日光の当たる場所に放置したり、保管したりしないでください。

【環境】

使用環境温度 → + 5 ~ + 35 ° C

使用環境湿度 → 25 ~ 80% R H

(但し、無結露状態)

保存環境温度 → - 10 ~ + 60 ° C

保存環境湿度 → 10 ~ 80% R H

(但し、無結露状態)

5. ラベルの通路に糊やゴミが付着してきましたら、エタノールをしみ込ませた柔らかい布などで、きれいに拭き取ってください。

- はじめてバッテリーパックをご使用になる場合は、十分に充電してからご使用ください。
- 本装置をバッテリーパックで使用している時は、一時的にご使用を中断する場合でも電源を「OFF」にしてください。バッテリーパックの節電になります。
- 定期的にサーマルヘッドのクリーニングを行うと同時にテスト印字を行ってください。テストパターンに白抜けが発生した場合は、当社販売店までサービスコールをしてください。

正常パターン 

異常パターン 

9. 始業時の点検

始業時には、テスト印字を行ってください。

テスト印字は、項目 13 の「テスト印字」をお読みください。

万が一、異常パターンがテスト印字された場合は、当社販売店までサービスコールをしてください。

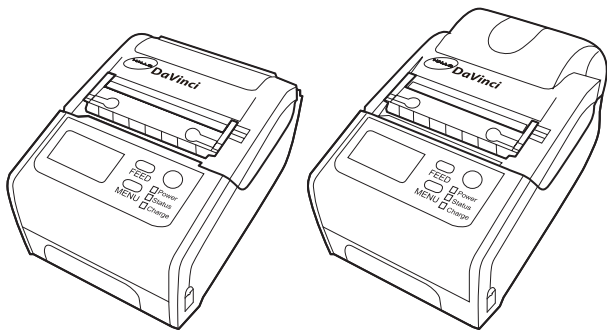
- 良好な印字品質・性能を維持するために、弊社指定の記録紙を使用してください。

3. 本装置の確認

本装置は、プリンター本体と付属品から構成されています。

3-1. プリンター本体

小径用記録紙を収納することができる[ダ・ヴィンチ]と大径用記録紙を収納することができる[ダ・ヴィンチ/L]の2種類から選択することができます。次ページ以降の取扱説明書は、[ダ・ヴィンチ]の図を使用して説明してあります。



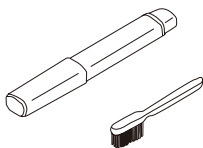
ダ・ヴィンチ

ダ・ヴィンチ /L

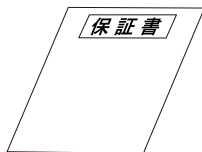
3-2. 付属品

プリンター本体に付属されます。

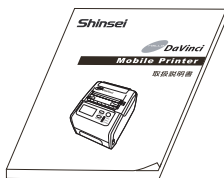
ヘッドクリーナー / ブラシ



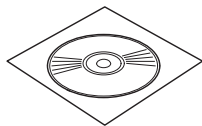
保証書



取扱説明書



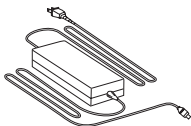
CD-ROM



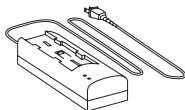
4. オプション

オプションは、ご注文内容によって異なります。
※尚、これ以外のオプションにつきましては、当社販売店までお問い合わせ下さい。

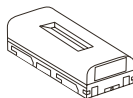
本体充電器
(CV-74/75)



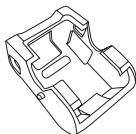
バッテリーチャージャー
(CH-74)



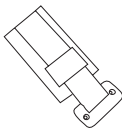
バッテリーパック
(BH-74)



プロテクター
(DP-74)



ベルトフック
(DH-74B)



データ転送ケーブル
(F140A)



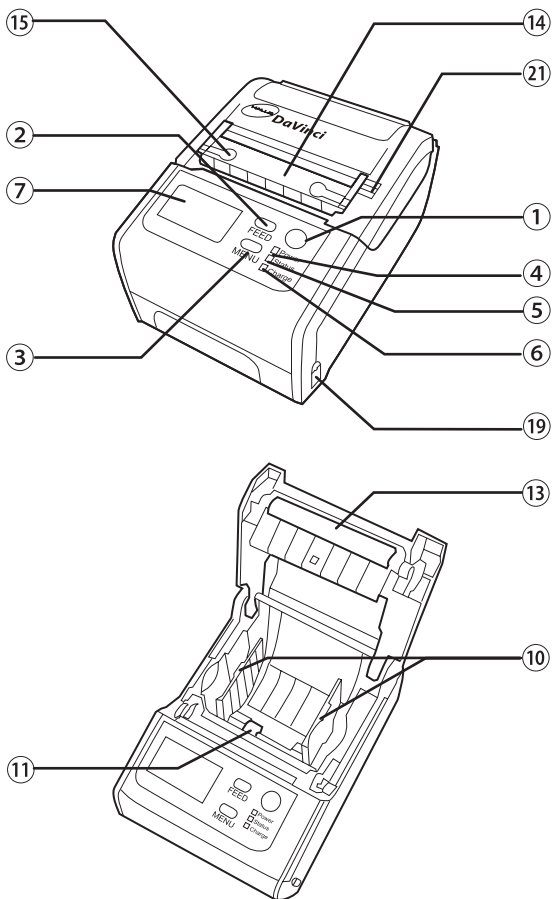
携帯ホルスター
(DH-74/75)

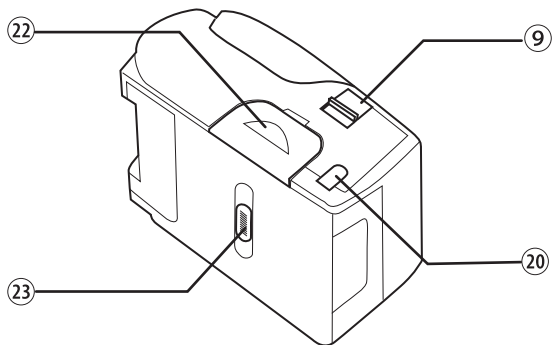
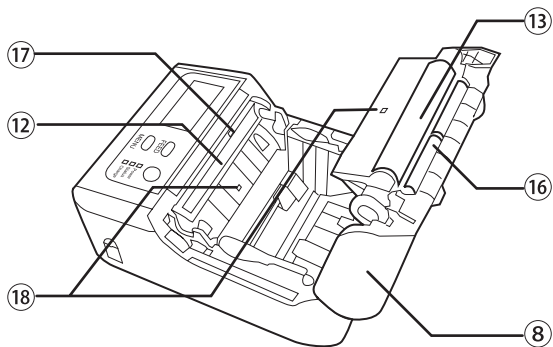


補助ケース
(HH-74)



5. 各部の名称と機能





番号	名称	機能
①	パワーキー	電源を ON/OFF します。
②	FEED キー	紙送りしたり、メニュー画面ではカーソルを移動させます。
③	MENU キー	画面を切り替えるときに押します。
④	Power LED	電源が ON したときに、LED が緑色点灯します。
⑤	Status LED	各種エラー表示したときに、LED が赤色点灯します。
⑥	Charge LED	本体充電器（別売）で充電中に点灯します。
⑦	液晶ディスプレイ	バッテリー残量表示や各種状態を表示します。
⑧	カバー	記録紙などを着脱するときに、開閉します。
⑨	カバー開放レバー	カバーを開くときのカバーロックを解除するレバーです。
⑩	ラベルホルダー	記録紙をガイドします。
⑪	ストッパー	ラベルホルダーを開いた状態で保持します。
⑫	サーマルヘッド	記録紙に印字をします。
⑬	プラテンローラ	サーマルヘッドとで記録紙を挟んで記録紙を移送します。

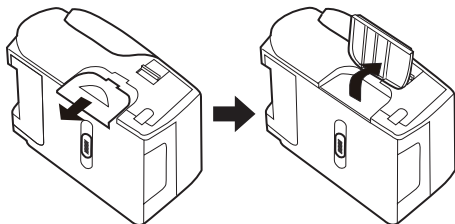
番号	名称	機能
⑭	剥離フレーム	印字されたラベルが台紙から剥離された状態が出てきます。
⑮	剥離フレーム 開放レバー	剥離フレームを開くときのレバーです。
⑯	剥離ローラ	台紙を発行口へガイドします。
⑰	剥離センサー	剥離されたラベルの有無を検知します。
⑱	ラベルセンサー	ラベル移送を検知するセンサーです。
⑲	USB 用 コネクタカバー	このカバーを開いて、パソコンなどと接続します。
⑳	DC 入力端子 カバー	本体充電器（別売）を接続します。
㉑	切り替えスイッチ	剥離発行モードの時、自動発行または手動発行の動作を切り替えます。
㉒	バッテリーパック カバー	バッテリーパックの収納部をカバーします。
㉓	バッテリーパック 開放レバー	バッテリーパックを取り出します。

6. バッテリーパックでご使用の場合

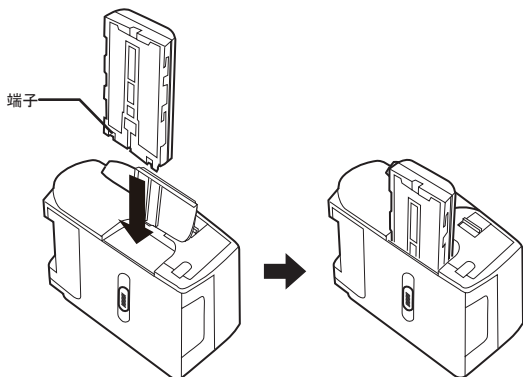
6-1. バッテリーパックの本装置への取り付け

(1) バッテリーパックカバーを開きます。

- 本装置のバッテリーパックカバーを矢印の方向へスライドさせてから水平の位置まで持ち上げてください。



(2) 満充電したバッテリーパックの端子を奥にして本装置のバッテリーパック収納部にカチッとロックされるまで差し込んでください。

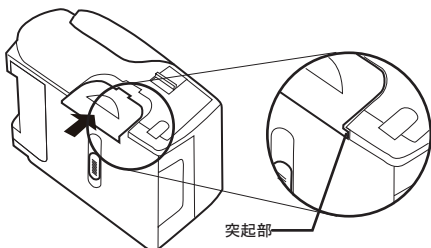


! 注意

バッテリーパックは、必ず端子側の方から差し込んでください。逆の方から差し込むと抜けなくなります。

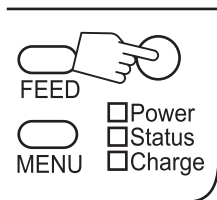
(3) バッテリーパックカバーを閉じます。

- バッテリーパックカバーを水平の位置から真下まで回転させ、バッテリーパックカバーの両側の突起部が本装置のスリットに入るように真上の方にカチッとロックされるまで押し込みます。



(4) 電源を ON にします。

Power LED が緑色点灯し、本装置に電源が入ります。



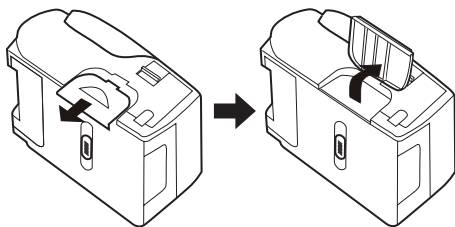
6-2. バッテリーパックの本装置からの取り外し

(1) 電源を OFF にします。

- Power LED が消灯していることを確認してください。

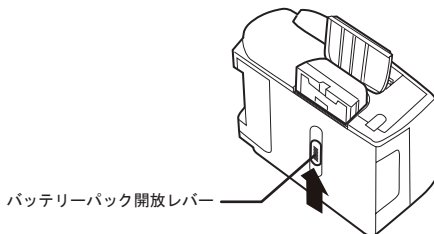
(2) バッテリーパックカバーを開きます。

- 本装置のバッテリーパックカバーをカチッとロックが解除されるまで矢印の方向にスライドさせてから、手前側の方から回転させて水平の位置まで持ち上げます。



(3) バッテリーパックを取り出します。

- 本装置の底面にあるバッテリーパック開放レバーをカチッとロックが解除されるまで矢印の方向にスライドさせます。



7. バッテリーパックの充電

7-1. こんなときは、充電が必要です

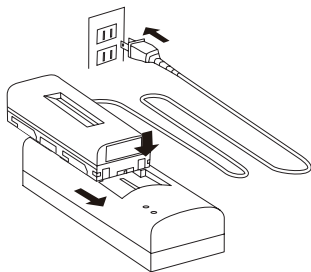
- (1) はじめてバッテリーパックをお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったとき。
- (2) 電源を ON にしても、液晶ディスプレイに何も表示されないときや、一度電池残量が表示されたが、すぐに消えてしまったとき。
- (3) 電池残量表示が段階 1/4 以下になったとき。



- (4) 各項目の入力中に液晶ディスプレイの表示が消えてしまったとき。
- (5) 印字中に動作が停止し、液晶ディスプレイに「電圧低下」の表示がされたとき。

7-2. 充電の仕方

- (1) 電源コードの出力側をバッテリーチャージャーの入力側に差し込み、電源コードのプラグを AC コンセントに接続します。
 - Power LED（赤色）が点灯します。
- (2) バッテリーパックを差し込んでから矢印の方向へスライドさせると、カチッとロックされます。
 - 充電がはじまると、Charge LED（赤色）が点灯します。満充電になると、Charge LED（赤色）が消えます。



⚠ 注意

Charge LED が点滅した場合は、バッテリーパックの不具合ですので、充電を止めてください。

- (3) 充電が終了したら、バッテリーパックを取り外します。
 - 充電時間 : 3 時間
 - 充電回数 : 300 回※充電時間や充電回数は、目安です。
そのときの使用状況によって変わります。



警告

- バッテリーパックは、絶対に分解または改造しないでください。破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。
- バッテリーパックに水やホコリなどがかからないようにしてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- バッテリーパックを保管するときは、金属などといっしょに置かないでください。ショートして、火災・感電の原因になります。



注意

- バッテリーパックは、長時間、充電状態で放置しないでください。
- 充電後は、必ずバッテリーチャージャーまたは本体充電器の電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。
- バッテリーパックは、充電後、長時間放置すると自然放電して電池残量が減少し、動作時間が少なくなることがあります（故障ではありません）。
- 使用直後でバッテリーパックが高温の状態のときは、充電しないでください。
- 必ず、温度が下がってから充電してください。
- 充電直後は、バッテリーパックが高温になりますので注意してください。

7-3. バッテリーパックをご使用になる上で

(1) バッテリーパックについて

バッテリーパックは、過充電や過放電により劣化速度（寿命）が大きく左右されますのでご注意ください。

●過充電を起こさないための注意点

充電したバッテリーパックは、放電をしないで短時間に何回も再充電を行わないでください。

●過放電を起こさないための注意点

本装置の液晶ディスプレイで電池残量の少ない警告が表示されたら、バッテリーパックを速やかに充電してください。

バッテリーパックは、長時間本装置に装着したままの状態（電源 OFF の状態でも放電は起きています）におかれた場合、または長時間自然放置された場合、過放電になる可能性があります。

●充電の最適化

バッテリーパックの充電は、本装置の液晶ディスプレイで電池残量が1/4以下になってから行うのが最適で、長寿命が保てます。

注意

リチウムイオン電池は、過放電させると正常に充電できなくなります。

(2) その他

- 本装置で大量に印字発行した直後などは、バッテリーパックの温度が高くなっていることがあります。

注意

バッテリーパックの温度が下がってから充電してください。

- リチウムイオン電池は、低温環境下では著しく容量が低下します。早めの充電を推奨します。
- 充電しても容量が満充電にならない場合、または使用時間が減少してきた場合は、新しいバッテリーパックと交換してください。

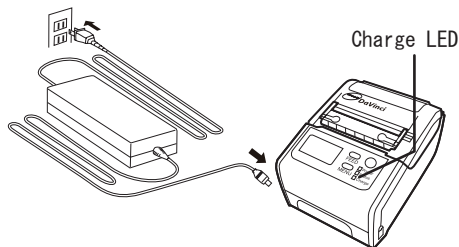
8. 本体充電器（別売）で充電する場合

8-1. 本体充電器の取り付け

- (1) 本装置にバッテリーパックを取り付けてください。
- (2) 電源 OFF の状態で本装置の DC 入力端子カバーを外し、本体充電器の DC 出力端子を本装置の DC 入力端子に接続します。
- (3) 本体充電器の電源プラグを AC コンセントに接続します。
- (4) 本装置の Charge LED が点灯し充電が始まります。

- | | |
|--------|---------|
| ● 充電時間 | : 5 時間 |
| ● 充電回数 | : 300 回 |

※充電時間や充電回数は、目安です。
そのときの使用状況によって変わります。



- (5) 満充電になると Charge LED が消灯します。
 - 次頁「8-2」の方法で本体充電器を取り外してください。

8-2. 本体充電器の取り外し

- (1) 本体充電器の電源プラグを AC コンセントから取り外してください。
- (2) 本体充電器の DC 出力端子を本装置の DC 入力端子から取り外し、本装置の DC 入力端子カバーを閉じてください。

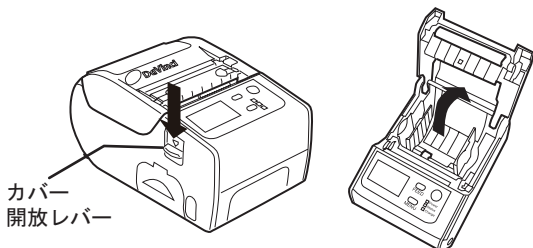
注意

本体充電器の DC 出力端子を本装置の DC 入力端子から取り外す場合、および本体充電器のプラグを AC コンセントから取り外す場合は、必ず本装置の電源を OFF にしてください。

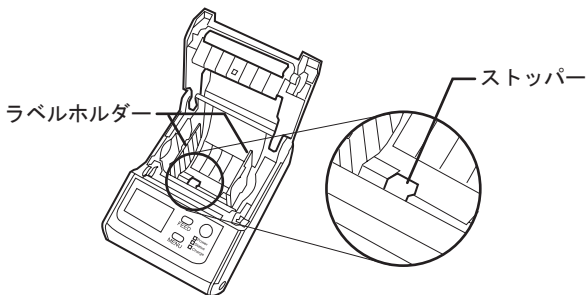
9. 記録紙のセット

9-1. 通常発行の場合

- (1) カバー開放レバーを押し下げて、カバーを開きます。



- (2) ストッパーを上を持ち上げて、ラベルホルダーを記録紙の幅に合わせます。幅に合ったことを確認したら、ストッパーを下げてください。

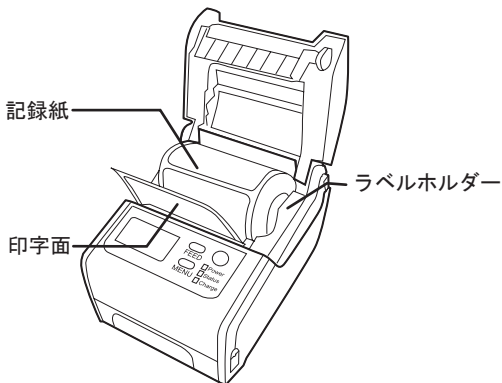


⚠ 注意

ストッパーを上げずに、ラベルホルダーを動かすと破損の原因になります。

- (3) 印字面が下向き（サーマルヘッド側）になるように記録紙を収納します。

収納できるラベルサイズは、本装置の仕様をご覧ください。

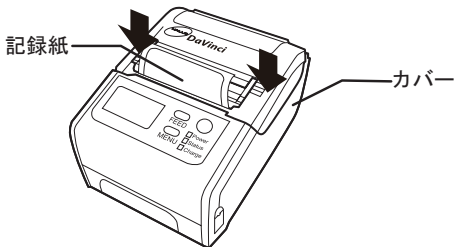


⚠ 注意

カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますが、手を触れないでください。

- 使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。
- また、手油がサーマルヘッド劣化の原因にもなりますので、絶対に触らないでください。

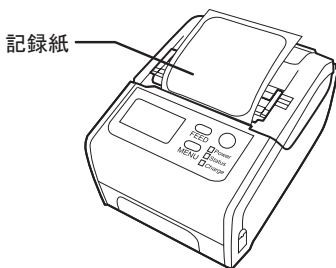
- (4) 記録紙を手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をゆっくりカチャと音がするまで閉めてください。カバーが固定されます。



! 注意

- カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。
- 手を挟まないように注意してください。

- (5) FEED キーを押します。
記録紙が定位置まで繰り出されます。

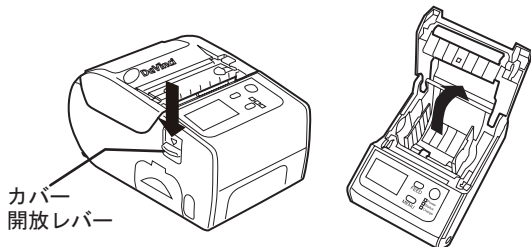


ラベルサイズやセンサータイプが違くとマークエラーになります。

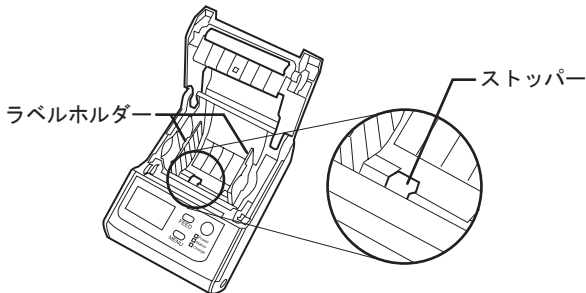
9-2. 剥離発行の場合

剥離発行する場合は、PC等で本体設定を剥離モードに設定する必要があります（本装置単体では、設定できません）。

- (1) カバー開放レバーを押し下げて、カバーを開きます。



- (2) ストッパーを上を持ち上げて、ラベルホルダーを記録紙の幅に合わせます。幅が合ったことを確認したら、ストッパーを下げてください。

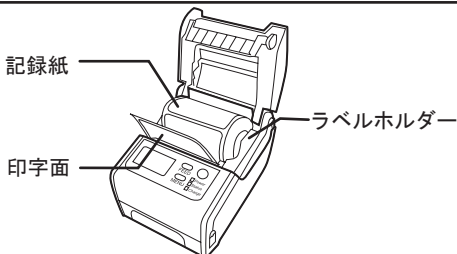


⚠ 注意

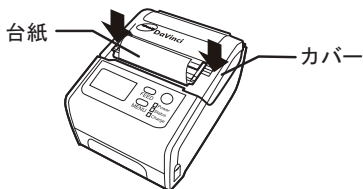
ストッパーを上げずに、ラベルホルダーを動かすと破損の原因になります。

- (3) 印字面が下向き（サーマルヘッド側）になるように記録紙を収納します。

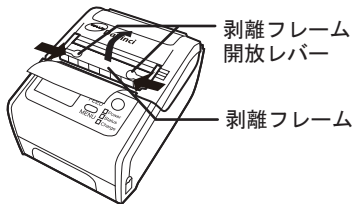
収納できるラベルサイズは、本装置の仕様をご覧ください。



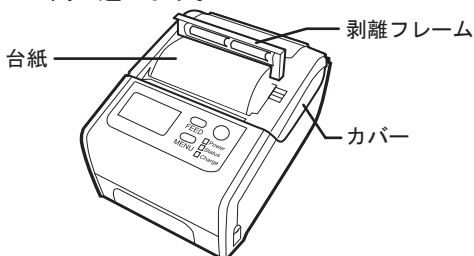
- (4) 記録紙の先端のラベルを一枚剥がし、台紙だけの状態のまま手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をゆっくりカチャと音がするまで閉めてください。カバーが固定されます。



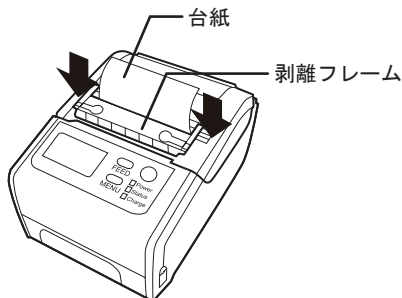
- (5) 両側の剥離フレーム開放レバーを内側にスライドさせて持ち上げるようにすると、剥離フレームが開きます。



- (6) ラベルが剥離された台紙だけを剥離フレームとカバーの間に通します。



- (7) 台紙がたるまないように軽く引っ張りながら、剥離フレームをゆっくりカチャと音がするまで閉めてください。剥離フレームが固定されます。



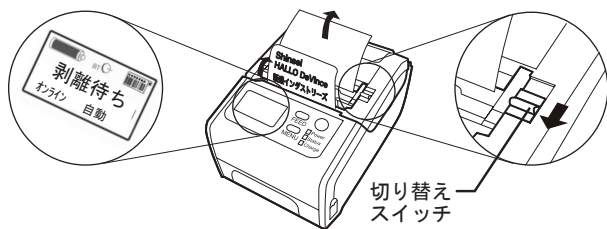
⚠ 注意

- 剥離フレームを勢いよく閉めると故障・破損の原因になります。
- 手を挟まないように注意してください。
- 剥離フレームを閉める時に、台紙がたるまないようにしてください。

(8) 切り替えスイッチを自動発行または手動発行のどちらかの位置に切り替えてください。

① 自動発行にする場合

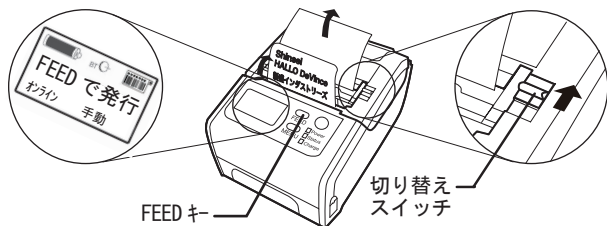
切り替えスイッチを矢印のように下側に切り替えます。



- 自動発行の場合は、剥離センサーがラベルの有無を検知して、ラベルが取り除かれたときに自動的に次のラベルが台紙から剥離されて発行口から繰り出されます。

② 手動発行にする場合

切り替えスイッチを矢印のように上側に切り替えます。



- 手動発行の場合は、FEEDキーを操作する毎に、次のラベルが台紙から剥離されて発行口から繰り出されます。

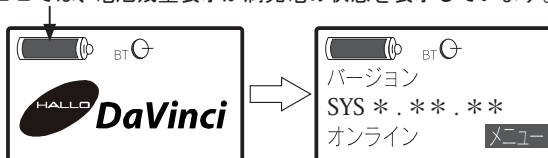
10. 電源の ON-OFF

10-1. 電源を ON にします

パワーキーを約1秒押し、Power LED を緑色点灯させてからパワーキーを放してください。

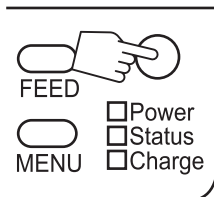
- 画面にロゴマークが数秒間表示された後、下図のような待機画面になり最初の操作までは機器のバージョンを表示しています。

※ここでは、電池残量表示が満充電の状態を表示しています。



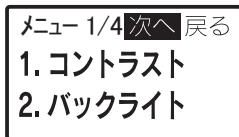
10-2. 電源を OFF にします

パワーキーを押し、Power LED が消灯してからパワーキーを放します。



11. 液晶ディスプレイのコントラストの調整

- (1) 電源を ON にします。
待機画面になります。
- (2) MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。次へ のところにカーソルがあることを確認し、FEED キーを押します。




- (3) 1. コントラスト になっていることを確認し、MENU キーを押します。



(4) この状態で FEED キーを押すと

— ⇒ + ⇒ 戻る の順番に選択されます。



コントラストを濃くしたいときは **+** を選択し、薄くしたいときは、**—** を選択し MENU キーを押すと数値が変化しコントラストが変わります。

(1 ~ 16)

(5) 設定が終わったら、FEED キーで **戻る** を選択し、MENU キーを押します。



(6) 前記 (2) のメニュー 1/4 画面に戻ります。

※ここで、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。

12. バックライトの点灯時間の調整

- (1) 電源を ON にします。
待機画面になります。
- (2) MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。**次へ** のところにカーソルがあることを確認し、FEED キーを押します。

メニュー 1/4 **次へ** 戻る
1. コントラスト
2. バックライト

- (3) **2. バックライト** になるまで FEED キーを押し、続けて MENU キーを押します。

メニュー 1/4 次へ 戻る
1. コントラスト
2. バックライト

(4) この状態で FEED キーを押すと

— ⇒ + ⇒ 戻る の順番に選択されます。



バックライト点灯時間を長くしたいときは + を
選択し、短くしたいときは、— を選択し MENU
キーを押すと数値が変化します (0 ~ 90 秒)。

(5) 設定が終わったら、FEED キーで 戻る を選択し、
MENU キーを押します。



(6) 前記 (2) のメニュー 1/4 画面に戻ります。

※ここで、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻り
ます。

13. テスト印字

13-1. テスト印字方法その1

- (1) 電源を ON にします。
待機画面になります。
- (2) MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。**次へ** のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

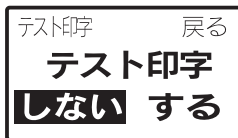
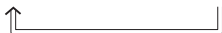
メニュー 1/4 **次へ** 戻る
1. コントラスト
2. バックライト

- (3) メニュー 2/4 画面になります。**3. テスト印字** になるまで FEED キーを押し、続けて MENU キーを押します。

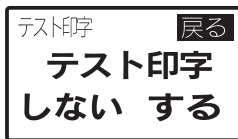
メニュー 2/4 **次へ** 戻る
3. テスト印字
4. 設定印字

(4) この状態で FEED キーを押すと

しない ⇒ する ⇒ 戻る の順番に選択されます。



- 印字しない場合は FEED キーで **しない** を選択し、MENU キーを押します。すると、前記(3)のメニュー 2/4 画面に戻ります。
 - 印字する時は FEED キーで **する** を選択し、MENU キーを押します。すると、テストパターンが印字されます。
- (5) 操作が終わったら、FEED キーで **戻る** を選択し、MENU キーを押します。



(6) 前記 (3) のメニュー 2/4 画面に戻ります。

※ここで、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。

13-2. テスト印字方法その2

- (1) 電源 OFF の状態から FEED キーを押しながら、パワーキーを押し、Power LED を緑色点灯させ、液晶ディスプレイにロゴマークが表示されたら FEED キーとパワーキーを放してください。
- (2) 下記のように正常パターンがテスト印字されることを確認してください。
 - 万が一、異常パターンがテスト印字された場合は、当社販売店までサービスコールをしてください。



14. 設定値の一覧印字

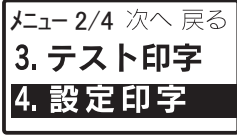
●設定値の一覧印字は、幅 48mm x 長さ 200mm で印字されます。ご使用のラベルによっては、印字がはみ出す場合があります。幅 48mm 以上のジャーナル紙を推奨します。

- (1) 電源を ON にします。
待機画面になります。
- (2) MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。**次へ** のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。



メニュー 1/4 **次へ** 戻る
1. コントラスト
2. バックライト

- (3) メニュー 2/4 画面になります。 **4. 設定印字** になるまで FEED キーを押し、続けて MENU キーを押します。



メニュー 2/4 **次へ** 戻る
3. テスト印字
4. 設定印字

(4) この状態で FEED キーを押すと

しない ⇒ する ⇒ 戻る の順番に選択されます。



- 印字しない場合は FEED キーで **しない** を選択し、MENU キーを押すと、前記 (3) のメニュー 2/4 画面に戻ります。
- 印字する時は FEED キーで **する** を選択し、MENU キーを押すと、記録紙に設定値が印字されます。

(5) 操作が終わったら、FEED キーで **戻る** を選択し、MENU キーを押します。

(6) 前記 (3) のメニュー 2/4 画面に戻ります。

※ここで、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。



15. プリンター情報の確認

- (1) 電源を ON にします。
待機画面になります。
- (2) MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

メニュー 1/4 次へ 戻る
1. コントラスト
2. バックライト

- (3) メニュー 2/4 画面になります。次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

メニュー 2/4 次へ 戻る
3. テスト印字
4. 設定印字

- (4) メニュー 3/4 画面になります。5. プリンタ情報 になるまで FEED キーを押し、続けて MENU キーを押します。

メニュー 3/4 次へ 戻る
5. プリンタ情報
6. Bluetooth

(5) バージョン情報が表示されます。

次の表示をさせる場合は、**次へ** のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。



```
プリンタ情報 次へ 戻る
SYS *.*.*
IPL_DP2 *.*.*
** Km
```

(6) エンコードが表示されます。FEED キーで **戻る** を選択し、MENU キーを押します。



```
プリンタ情報 次へ 戻る
Japanese
shift_jis
```

(7) 前記 (4) のメニュー 3/4 画面に戻ります。

※ここで、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。

16. Bluetooth™ 通信の設定値の確認

- (1) 電源を ON にすると、待機画面になります。
- (2) 待機画面で MENU キーを約 1 秒押すと、メニュー 1/4 画面になります。次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

メニュー1/4 次へ 戻る

1. コントラスト
2. バックライト

- (3) メニュー 2/4 画面になります。次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

メニュー2/4 次へ 戻る

3. テスト印字
- 4 設定印字

- (4) メニュー 3/4 画面になります。FEED キーを押して 6. Bluetooth を選択し、MENU キーを押します。

メニュー3/4 次へ 戻る

5. プリント情報
6. Bluetooth

- (5) BDA 印字と設定表示の選択画面になります。
1. BDA 印字 にカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

Bluetooth 戻る

1. BDA 印字
2. 設定表示

(6) BDA 印字画面になります。

BDA 印字をしない場合



- 印字をしない時は、**しない** にカーソルがあることを確認し、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。
- ※この画面で MENU キーを押すと、前記選択画面に戻ります。

BDA 印字をする場合

- 印字をする時は、FEED キーで **する** を選択し、MENU キーを押すと Bluetooth の認証アドレス (BDA) が印字されます。
- BDA 印字が終わったら、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。
- ※この画面で MENU キーを押すと、前記選択画面に戻ります。

(7) この選択画面で、FEED キーで **2. 設定表示** を選択し、MENU キーを押します。



- ①最初の設定値が表示されます。

Bluetooth 次へ 戻る
BDA / Name:
※ 000190E130A0
SHINSEI PRINTER

※印の数値は、装置によって異なります。

- ② 次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押すと、第2の設定値が表示されます。

Bluetooth 次へ 戻る
PIN:
0000000000000000
Auth:none

- ③さらに、次へ のところにカーソルがあることを確認しMENU キーを押すと、最後の設定値が表示されます。

Bluetooth 次へ 戻る
ModuleVersion:

BT****

Bluetooth のモジュール番号

- この画面で MENU キーを約 1 秒押すと、待機画面に戻ります。
- ※この画面で 次へ のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押すと、最初の設定値の表示画面に戻ります。
- ※この画面で FEED キーで 戻る を選択して MENU キーを押すと、メニュー 3/4 画面に戻ります。

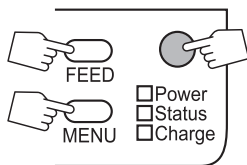
補 足

Bluetooth の初期化機能

Bluetooth のペアリング情報を削除して初期化し、Bluetooth 情報を出荷状態に戻します。

※本機能は、前ページの③に表示されている BT 番号が「BT301」以降の場合に動作します。

- (1) FEED キーと MENU キーを押しながら、電源を ON にすると（3 秒以上押します）、Power LED が緑色に点灯し、Status LED が赤色に点滅します。



- (2) 画面に初期化メッセージを表示し、Bluetooth のペアリング情報を削除し始め、Bluetooth の初期化を行います。

** Bluetooth **
BT Initialize...

- (3) Status LED が点滅終了後（約 10 秒間）、待機画面を表示し、正常に起動します。

これで、初期化が完了し Bluetooth が出荷状態に戻りました。

17. センサーの自動調整

ラベルセンサーと剥離センサーの感度調整を自動で行います。

17-1. ラベルセンサーの自動調整

- (1) メニュー 3/4 画面で **次へ** のところにカーソルがあることを確認し MENU キーを押すと、メニュー 4/4 画面になります。

ラベルの位置決めをするラベルセンサーの自動調整を行う場合は、FEED キーを押して **7. センサ調整** を選択し、MENU キーを押します。

メニュー 4/4 次へ 戻る

7. センサ調整

8. ハクリ調整

- (2) ラベル種類の選択画面になります。

本装置にセットするラベルの種類によって、マークラベルまたはギャップラベルのいずれかを FEED キーを押して選択します。

マークラベルを選択する場合

- ① **1. マークラベル** のところにカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。

オートセンサ 戻る

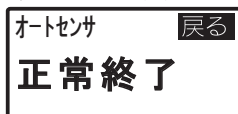
1. マークラベル

2. ギャップラベル

- ②マークセンサー調整画面になります。
FEED キーを押すごとに、**しない** ⇒ **する** ⇒ **戻る**
の順番に選択されます。



- ③センサー調整をしない時は、**しない** にカーソルがあることを確認し、MENU キーを押します。
すると、前の選択画面に戻ります。
- ④センサー調整をする時は、FEED キーで **する** を選択し、MENU キーを押します。
- 正常にセンサー調整がされると、次のような正常終了画面が表示されます。



- この画面で MENU キーを約 1 秒押すと、待機画面に戻ります。
- ※この画面で **戻る** のところにカーソルがあることを確認し MENU キーを押すと、前記選択画面に戻ります。

ギャップラベルを選択する場合

- ①ラベル種類の選択画面で FEED キーを押して、
2. **ギャップラベル** を選択し、MENU キーを押します。



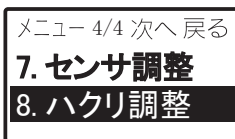
以下、マークラベルの手順 ②⇒③⇒④ と同様に行ってください。

17-2. 剥離センサーの自動調整

- (1) メニュー 3/4 画面で **次へ** のところにカーソルがあることを確認し MENU キーを押すと、メニュー 4/4 画面になります。

剥離されたラベルの有無を検知する剥離センサーの感度調整を行う場合は、FEED キーを押して

8. ハクリ調整 を選択し、MENU キーを押します。



- (2) 剥離センサーの閾値設定画面が表示されます。

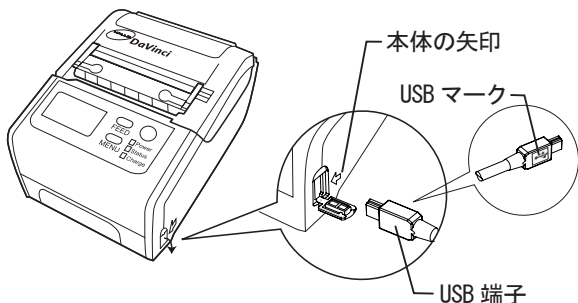


- 閾値を低くしたいときは **—** を選択し、MENU キーを押すごとに [-1] ずつ減算します。
閾値を低くすると、剥離センサー感度が低くなります。
 - 閾値を高くしたいときは **+** を選択し、MENU キーを押すごとに [+1] ずつ加算します。
閾値を高くすると、剥離センサー感度が高くなります。
- (3) 閾値の設定が終わったら、MENU キーを約 1 秒押すと待機画面に戻ります。

※この設定画面で FEED キーを押して **戻る** を選択し、MENU キーを押すと前記メニュー 4/4 画面に戻ります。

18. USB 接続の場合

- (1) USB 用コネクタカバーを下の方に開きます。
- (2) オプションのデータ転送ケーブルを USB 用コネクタに接続します。
 - データ転送ケーブルの USB 端子の USB マークと本体の矢印とを合わせるように差し込んでください。

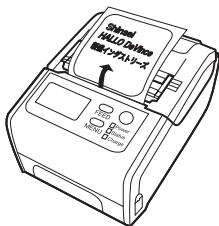


19. Bluetooth™ 通信で使用する場合

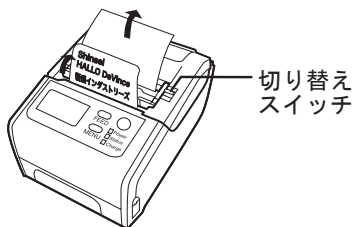
Bluetooth™ 通信を使って印字する場合は、使用環境やハンディターミナルによって使用距離が異なります。特に、電子レンジの周辺、電波障害が発生する場所、無線LAN機器の周辺では著しく距離が短くなったり、通信できないことがありますので、ご注意ください。

20. 記録紙の発行

- (1) パソコンまたはハンディターミナルからデータを送信します。
- (2) 通常発行の場合
設定枚数の印字がされた記録紙が発行口から繰り出されます。




- (3) 剥離発行の場合
切り替えスイッチを自動発行か手動発行のどちらかの位置に切り替えてください。
※自動発行または手動発行については、頁 35 の項目 9-2-(8) をお読みください。



21. エラーメッセージ

本装置に異常が発生した場合、Status LED または Charge LED が赤色点灯または点滅するとともに、液晶ディスプレイに状態表示されます。対処方法に従って作業をしてください。

番号	液晶ディスプレイ	Status LED	状態	対処方法
1	印字中止 / 印字再開	消灯	発行中に一時停止された状態を表します。	FEED キーと MENU キーで選択してください。
2	冷却中 (カウントダウン)	消灯	通常発行時にモータ過熱による休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
3	ヘッド冷却中	消灯	ヘッド過熱による冷却休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
4	ラベルエンド	赤色点灯	ラベルエンドを検知した状態を表します。	ラベルを交換してください。

番号	液晶ディスプレイ	Status LED	状態	対処方法
5	カバーオープン	赤色点灯	カバーが開いている状態を表します。	カバーを閉じてください。
6	電圧低下	赤色点灯 (約10秒間)	バッテリーの電圧低下を検知した状態を表します。約10秒後に電源が切れます。	バッテリーを充電してください。
7	ヘッド切れ	消灯	ヘッド切れを検知した状態を表します。	当社販売店までサービスコールをしてください。
8	マークエラー	赤色点灯	マークを検知できないときの状態を表します。	正しいラベルを入れてください。
9		消灯	内蔵 Bluetooth に不具合が生じた状態を表します。	当社販売店までサービスコールをしてください。

番号	液晶ディスプレイ	Charge LED	状態	対処方法
1	表示なし	点滅	バッテリーが劣化した状態を表します。	新しいバッテリーと交換してください。

22. 日常点検およびクリーニング方法

22-1. 印字の点検（テストパターンの印字）

ラベル発行を行う際、まず始めにテストパターンを印字させます。サーマルヘッドが正常に働き、正しく印字できるかどうか点検してください。

- (1) 本装置の電源を ON にします。
- (2) 項目 13 の「テスト印字」のように、テストパターンを印字させてください。
- (3) 印字されたテストパターンに白抜けがないことを確認してください。



22-2. ヘッドチェックの実行

本機は電源を入れると、自動的にヘッドチェックを行っています。「ヘッド切れ」と表示した場合は、当社販売店までサービスコールをしてください。

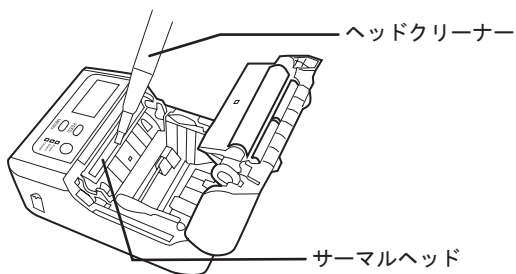
- ヘッドチェックは目安です。「ヘッド切れ」と表示した場合でも、テスト印字が正常だったり、テスト印字が異常でも「ヘッド切れ」を表示しない場合があります。その場合は、テスト印字を優先してください。

22-3. サーマルヘッドのクリーニング

印字ヘッドに糊やゴミが付着すると、正常な印字ができなくなりますので、サーマルヘッドのクリーニングをしてください。

- (1) カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーを開いて記録紙を取り出します。
- (2) 毎日ご使用の際は、サーマルヘッドにゴミなどが付着していないか点検してください。
- (3) 付着物がある場合は、付属のヘッドクリーナーでいねいに拭き取ってください。

- (4) ヘッドクリーナーが汚れたら、汚れた部分をカットして使用してください。



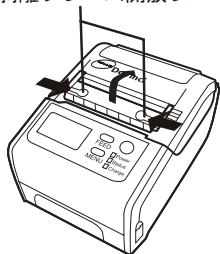
⚠ 注意

- サーマルヘッド用と指定されているヘッドクリーナー以外は、使用しないでください。
- ドライバーなどの先の硬いもので付着物を取り除こうとすると、サーマルヘッドの損傷の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 印字の直後など、サーマルヘッドが高温になっている場合は、クリーニングをしないでください。火傷の原因になります。

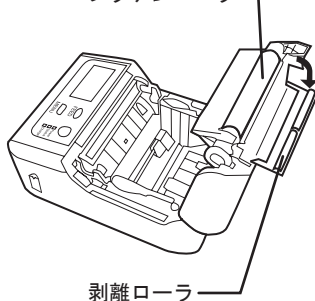
22-4. プラテンローラと剥離ローラのクリーニング

- (1) 剥離フレーム開放レバーを矢印のようにスライドさせて、剥離フレームをオープンにします。
- (2) カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーを開いて記録紙を取り出します。

剥離フレーム開放レバー



プラテンローラ



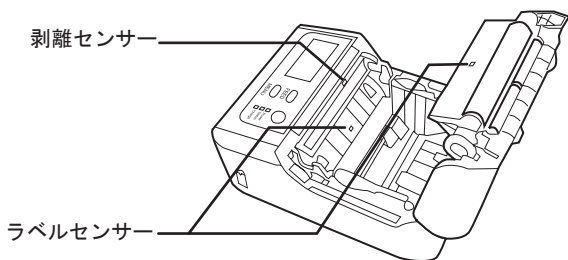
- (3) プラテンローラと剥離ローラをエタノールをしみ込ませた柔らかい布などで、きれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は、本装置またはプラテンローラなどを溶かすことが有り、トラブルの原因になりますので、絶対に使用しないでください。

22-5. 各センサー部のクリーニング

- (1) カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーをオープンにし記録紙を取り出します。
 - (2) ラベルセンサー部及び剥離センサー部を付属品のブラシでクリーニングしてください。
- ラベルが正しくセットされていても、Status LEDが赤色点灯している場合、ラベルセンサー部にゴミが付着している可能性があります。



23. 本装置の仕様

仕様／モデル名		ダ・ヴィンチ
印字部	印字方法	サーマルペーパーによる感熱記録方式
	解像度	8 dot/mm (203dpi)
	印字速度	最大 100mm/秒 (標準印字時)
	有効印字範囲	幅 48mm 長さ 100mm
外形寸法	縦 123mmX 横 85mmX 高さ 64mm (突起部を除く) ●ダ・ヴィンチ／Lタイプの場合 縦 146mmX 横 85mmX 高さ 76mm (突起部を除く)	
重量	400 g (バッテリーパック含む) ●ダ・ヴィンチ／Lタイプの場合 410 g (バッテリーパック含む)	
電源	バッテリー	専用リチウムイオン電池 (7.4V 2500mAh)

表示部	L C D	1 2 8 × 6 4 ドット ドットマトリクス液晶 (バックライト有り)
	L E D	3 個 (Power、Status、Charge)
操作部	ボタン	3 個 (Power、MENU、FEED)
インターフェース	Bluetooth™	Bluetooth™ Ver. 1. 2 (クラス 2) 準拠
	USB (mini-B)	データ転送ケーブル (F140A) 使用
通信方式	SPLM (専用プロトコルによるコマンド方式)	
発行方式	通常発行、剥離発行	
ラベル (表巻き 専用)	ラベル 台紙幅	24 ~ 58mm
	ラベル 外径	最大 58mm (モバイル標準ラベル) ●ダ・ヴィンチ/Lタイプの場合 最大 70mm (卓上標準ラベル)
	ラベル 種類	アイマーク、ギャップ、 ジャーナル

バーコード シンボル		JAN/EAN-8/13、UPC-A/E、ITF CODE39、CODE128、NW7 EAN128、GS1 DataBar (RSS)
2次元コード		QR、PDF417
文字種		ゴシック体：16×16、22×22、24×24 明朝体：22×22、24×24 POP フォント アウトラインフォント：16～127 (縦×横)
機能	自己診断	エラーを液晶に表示
	省電力	スリープモード オートパワーオフ バッテリー残量表示
オプション		本体充電器 (CV-74/75) バッテリーチャージャー (CH-74) バッテリーパック (BH-74) プロテクター (DP-74) ベルトフック (DH-74B) データ転送ケーブル (F140A) 携帯ホルスター (DH-74/75) 補助ケース (HH-74)

24. ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら当社販売店までご連絡ください。
4. 運用した結果につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますので、予めご了承ください。
5. 本装置を使用することにより、または本装置で発行したラベルなどを使用することにより、あるいは故障・修理などでデータが消えたり変化したりすることにより発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承下さい。



Shinsei

株式会社

新盛インダストリーズ

本社

東京都北区堀船4-12-15 〒114-0004

TEL. (03) 3913-0131 FAX. (03) 3913-9607

大阪営業所

大阪市中央区十二軒町4-2 岸本産業谷町ビル 〒540-0015

TEL. (06) 6765-4381 FAX. (06) 6765-4382

<http://www.shinseiind.co.jp/>

MM0500-3